

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年3月8日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから3月8日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

あしたの委員会の定例会の議題は6つあります。

まず、1つ目、JAEAの中長期計画の認可手続ということになります。

JAEAの中長期計画、これは来年度から7ヶ年の計画になりますけれども、2月2日の委員会で中長期目標というのが委員会です承されまして、その後、それに沿った計画の認可申請が出てきましたので、それについて審議するということになります。今回、JAEAの大井川理事もウェブで参加いただいてということになります。了承が得られれば、その後、財務大臣への協議を経て認可という順番になります。

議題の2つ目が、東海第二の設置変更許可、圧縮減容装置の設置についてということです。

この件は、1月26日の委員会で了承されたものでありまして、その後、経済産業大臣と原子力委員会での意見聴取というのがありまして、特に意見がないということなので、今回許可を決定するというものであります。

議題の3つ目、標準応答スペクトルに関する基準地震動の変更の要否のJRR-3についてということです。

これは、JRR-3について、基準地震動の変更は不要という旨の審議結果が出たということをご報告するものです。

議題の4が、3.11報告の2回目ということで、これは先週も議題になりましたけれども、軽微な修正指示が出ましたので、修正してもう一回かけるということです。

議題の5つ目が、令和3年度マネジメントレビューについてというものの2回目です。

これも先週議題にしまして、先週は事務方からの報告で、ちょっと量が多かったので、1週間かけて意見を下さいということで、委員から今回意見をいただいて、来年度の業務計画づくりに反映していくということになります。

議題6が、1Fのリスク低減マップの3回目ということで、これも前回、先週の委員会で了承されなくて、幾つか意見が出ましたので、それを受けて修正をしたり、あとは事実

関係の確認をして、それを報告するということになります。

あとは、議題以外のトピックスとして、ウクライナの原子力発電所のそのときの最新の状況について報告がある見込みです。

あとは、3月10日の（4）、ALPSの審査会合です。

これは引き続き宿題事項への回答ということになります。

次が、3月14日の（6）、1Fの監視評価検討会ですけれども、議題は3つありまして、リスク低減目標マップの改定と、ALPSの審査業況の報告と、あと、これまでの指摘事項への対応ということになります。

説明は以上です。

### <質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。質問のある方は手を挙げてください。

では、カワムラさん、お願いします。

○記者 朝日新聞のカワムラです。よろしくお願いします。

ウクライナ情勢のことなのですけれども、現時点、規制委員会でこれまでどんな対応をしてきたかというのを簡単に教えていただければと思います。

○黒川総務課長 我々、情報を収集しているということで、直接ウクライナ政府からのルートがあるわけではなくて、IAEAを通じて、通常、原発で異常があると、各国IAEAに報告するというルールがありますので、それをIAEAルートで情報をもらっている、そういう形で情報を収集しています。

ほかに御質問はございますでしょうか。

では、ヨシノさん、お願いします。

○記者 テレビ朝日、ヨシノですが、ウクライナのことなのですけれども、向こうの原発は幾つかロシア軍に占拠されていますけれども、ロシア軍に占拠後も情報はIAEAに上がっているということなのでしょうか。

○黒川総務課長 現地のどこまでの情報が、我々も現地の個別のサイトの細かい情報まで送られてきているわけではないので、それなりの情報は来ていると聞いています。すみません。中身は私もよく知らないのです。

○司会 ほかに御質問はございますか。

では、ハセガワさん、お願いします。

○記者 関連して、私もウクライナの関係で。

ウクライナの規制当局もホームページで日々更新しているような情報があるかと思うのですが、そういったものも報告の対象になるのですか。

○黒川総務課長 それほど詳しいものにはならなくて、IAEAからの情報とウクライナの政府のものもあるならば、それも含めて、そんなに細かいことにはならない、簡単な報告

になると聞いています。

○記者 それに対する委員の見解みたいなものが、そのタイミングであるのでしょうか。

○黒川総務課長 見解というのが何かあるかという、そこまではないかなということだと思います。その場にならないと分からないですけども、見解などというものは恐らくなくて、それを聞いて終わるか、何かコメントがあるか、その程度だと思います。

○記者 これは継続して今後もやっていく形になるのですか。事態が動いている限りは。

○黒川総務課長 どれぐらい動くかで、そんな何度も、では、今週はという感じでやるような予定はないですけども、状況が大きく動けば、その都度報告になるのではないかと思います。

○司会 ほかに御質問はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。

ありがとうございました。

—了—